

中小企業における2022年の正社員採用予定

～ 正社員「採用企業」は25.2%で、3年連続減少
採用「難しくなった」は43.5%で、昨年比増

厚生労働省によると、2021年平均の有効求人倍率は全国が1.13倍で、前年を0.05ポイント下回った。また、大阪府の有効求人倍率も前年比0.16ポイント下落の1.13倍となり、このところの景況感の悪化を反映した結果となっている。このような状況のもと、中小企業の2022年正社員の採用状況はどうか、当金庫取引先企業を対象にアンケート調査を実施した。

- 調査時点 : 2022年2月上旬
- 調査対象 : 大阪シティ信用金庫取引先企業（大阪府内）
- 調査方法 : 聞き取り法
- 依頼先数 : 1,138社
- 有効回答数 : 1,072社
- 有効回答率 : 94.2%

(単位:社)

従業者 業種等	5人未満	5～19人	20～49人	50人以上	計	構成比
製造業	64	232	76	29	401	37.4%
卸売業	40	66	17	0	123	11.5%
小売業	37	46	9	5	97	9.0%
建設業	49	109	20	4	182	17.0%
運輸業	11	46	15	17	89	8.3%
サービス業	70	76	23	11	180	16.8%
計	271	575	160	66	1,072	100.0%
構成比	25.3%	53.6%	14.9%	6.2%	100.0%	—

(注) 小売業に「飲食店」、サービス業に「不動産業」を含みます。

◎本調査に関するお問い合わせは下記にお願いします。

大阪シティ信用金庫

大阪府大阪市中央区北浜 2-5-4 TEL. 06 (6201) 2919

調査担当部署 : 大阪シティ総合研究所 (担当:山川、吉川)

(要旨)

1. 採用の有無

「採用する」企業は昨年比 2.5 ポイント減の 25.2% で 3 年連続の減少となった。また、「採用しない」企業 (35.4%) も同 11.8 ポイント減少した。今回「未定」企業が 39.4% で最多となり、今後の景気動向等により採用状況は大きく変わる可能性がある。

2. 採用理由

「仕事量が増加し、人手不足になってきたため」(42.6%) が最も多く、次いで「退職による欠員を補充するため」(26.3%) が続いている。業種別でみると、建設業において「人手不足」による採用が 62.2% と特に高い。

3. 採用方針 (複数回答)

採用区分は、「新卒採用」(53.7%) より「中途採用」(95.2%) が圧倒的に多く、中小企業では経験者などの即戦力採用が主体となっている。

4. 中途採用する理由 (複数回答)

「新卒者の成長を待っている余裕がない」(56.7%) が最も多く、中途採用せざるを得ない状況がうかがえる。次いで、「新卒の応募者が集まらない」(47.6%)、が多く、以下「新卒者は定着率が低い」が 24.2%、「新卒者を育成する体制を敷けない」が 15.9% などとなっている。

5. 昨年の採用実績

昨年、正社員を「採用した」企業は 34.4% である。「採用しなかった」企業 (65.6%) のうち「当初計画があったものの、採用しなかった」とした企業 (9.9%) が 1 割程度あり、その理由としては、「希望する人材がいなかった」(55.8%) が最多となっている。

6. 採用の難易度

「非常に難しくなった」(9.7%) と「やや難しくなった」(33.8%) を合計した「難しくなった」とする企業は 43.5% となり、昨年調査 (31.8%) と比べて 11.7 ポイント増加した。

7. 非対面による採用活動

「実施している」企業は 17.4% に過ぎず、「実施していない」企業は 82.6% にのぼる。なお、「実施したいができない」企業も 24.6% ある。

1. 採用の有無

すべての企業に対し、今年の正社員の採用（実績および予定）について聞いた結果が第1表である。

全体で見ると、「①採用する」と答えた企業は昨年比2.5ポイント減の25.2%で3年連続の減少となった。同割合は、2015年（23.4%）以来の低水準である（後掲3ページ<参考図>参照）。また、「②採用しない」とした企業（35.4%）も同11.8ポイント減少した。今回の調査では「③未定」とした企業が39.4%（同14.3ポイント増）で最も多く、今後の景気動向等により採用状況は大きく変わる可能性がある。

長期にわたり人手不足の課題を抱える中小企業では、人材確保の必要性は年々高まっているとみられるが、景気の先行き不透明感が強まるなか、採用に対する慎重姿勢が鮮明になっている。

業種別で見ると、「①採用する」企業割合は、運輸業が39.3%で最も高く、小売業が15.5%で最も低い。昨年調査と比べると、運輸業（3.7ポイント増）を除く業種で軒並み減少した。

さらに従業員規模別で見ると、「①採用する」企業割合は規模が大きくなるほど高くなっており、5人未満の10.0%に対し、50人以上では63.6%に及ぶ。

第1表 採用の有無

(%)

区分		項目	①採用する	②採用しない	③未定	計
業種別	製造業		28.2	35.4	36.4	100.0
	卸売業		17.0	41.5	41.5	100.0
	小売業		15.5	41.2	43.3	100.0
	建設業		24.7	34.1	41.2	100.0
	運輸業		39.3	20.2	40.5	100.0
	サービス業		22.8	37.2	40.0	100.0
規模別	5人未満		10.0	55.7	34.3	100.0
	5~19人		22.3	34.8	42.9	100.0
	20~49人		45.6	14.4	40.0	100.0
	50人以上		63.6	9.1	27.3	100.0
全体			25.2	35.4	39.4	100.0
2021年4月調査			27.7	47.2	25.1	100.0
2020年2月調査			33.8	39.8	26.4	100.0
2019年2月調査			36.0	39.1	24.9	100.0

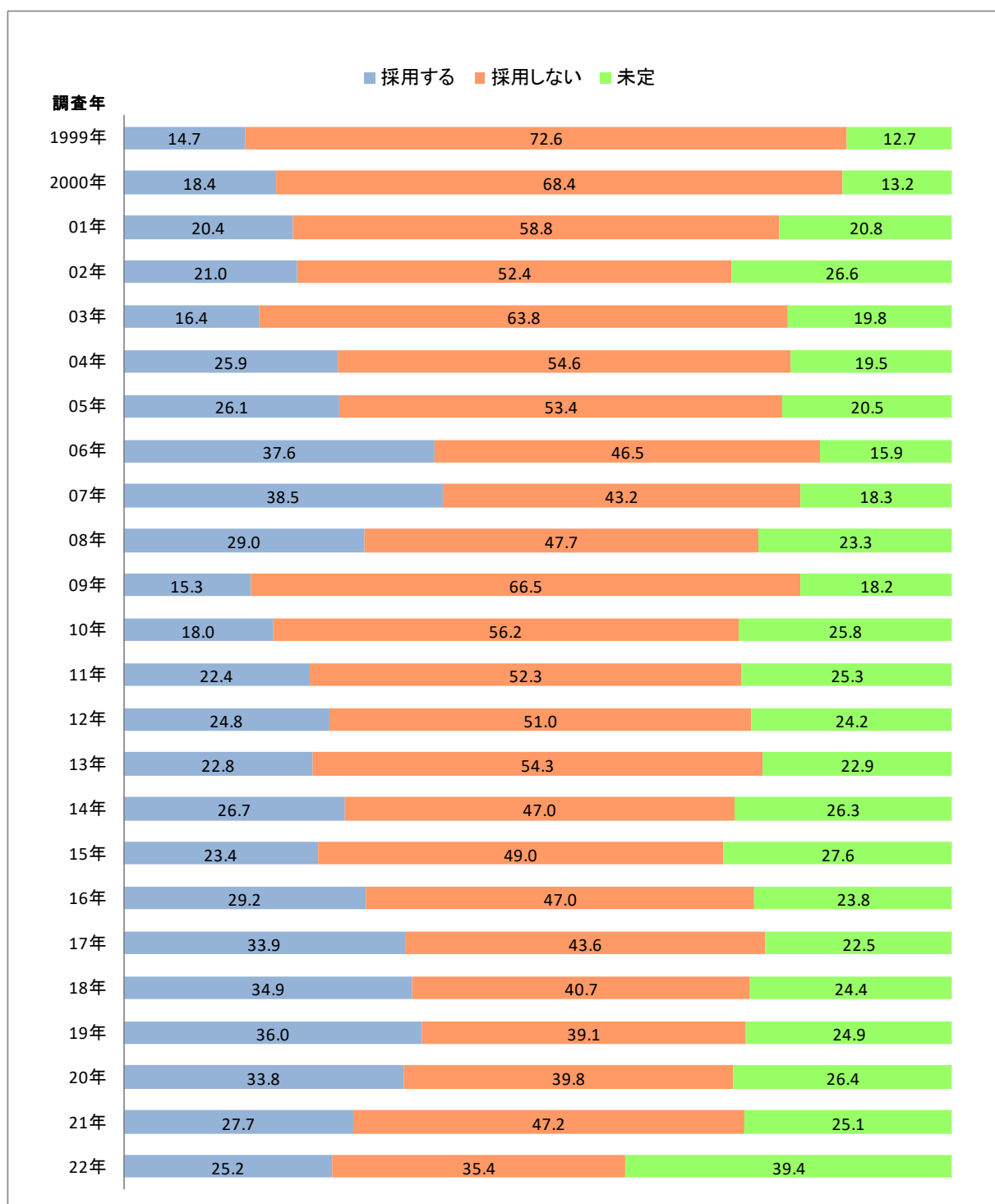
(ポイント)

昨年比増減		
①する	②しない	③未定
▲0.7	▲11.6	12.3
▲6.2	▲7.9	14.1
▲3.7	▲21.1	24.8
▲1.2	▲14.6	15.8
3.7	▲8.6	4.9
▲9.8	▲6.5	16.3
1.8	▲15.0	13.2
▲3.9	▲9.4	13.3
▲6.0	▲12.7	18.7
▲10.8	▲0.7	11.5
▲2.5	▲11.8	14.3
▲6.1	7.4	▲1.3
▲2.2	0.7	1.5
1.1	▲1.6	0.5

<参考図>

採用状況の推移

(単位：%)



2. 採用理由

前項1で「採用する」と答えた企業（全企業の25.2%、270社）に対し、正社員を採用する主たる理由を聞いた結果が第2表である。

全体で見ると、「①仕事量が増加し、人手不足になってきたため」と答えた企業が42.6%で最も多く、「②退職による欠員を補充するため」が26.3%で続いている。これを昨年調査と比べると「①人手不足になってきたため」が9.3ポイント増加したのに対し、「②退職による欠員を補充するため」は6.0ポイント減少した。

そのほか、「③現事業の業容拡大を図るため」が20.7%（昨年比0.6ポイント増）、「④新分野進出や自社のレベルアップ等に向け、優秀な人材を確保するため」が10.4%（同3.9ポイント減）となっている。

業種別で見ると、「①人手不足になってきたため」と答えた企業割合は、建設業（62.2%）が6割を超え、特に高くなっている。

第2表 採用理由

(%)

区分		項目	①人手不足になってきた	②退職による欠員の補充	③現事業の業容拡大	④優秀な人材の確保	計
業種別	製造業		32.7	31.9	22.1	13.3	100.0
	卸売業		42.9	23.8	19.0	14.3	100.0
	小売業		33.3	26.7	33.3	6.7	100.0
	建設業		62.2	20.0	11.1	6.7	100.0
	運輸業		45.7	25.7	22.9	5.7	100.0
	サービス業		48.7	19.5	22.0	9.8	100.0
規模別	5人未満		59.3	18.5	18.5	3.7	100.0
	5～19人		44.5	26.6	18.0	10.9	100.0
	20～49人		38.4	30.1	19.2	12.3	100.0
	50人以上		33.4	23.8	33.3	9.5	100.0
全体			42.6	26.3	20.7	10.4	100.0
2021年4月調査			33.3	32.3	20.1	14.3	100.0
2020年2月調査			56.1	15.3	20.7	7.9	100.0
2019年2月調査			55.1	16.1	20.4	8.4	100.0

3. 採用方針

同じく「採用する」と答えた企業（全企業の25.2%、270社）に対し、採用方針（採用区分）を複数回答で聞いた結果が第3表である。

全体で見ると、「①新卒採用する」と答えた企業が53.7%であるのに対し、「②中途採用する」企業は95.2%と圧倒的に多い。

これを昨年調査と比べると、「①新卒採用」は9.1ポイント減少したのに対し、「②中途採用」は2.2ポイント増加している。

中小企業では経験者などの即戦力の必要性から中途採用が主体となっているが、今回はその傾向が強まった。

第3表 採用区分 (複数回答、%)

区分		項目	実数 (社)	①新卒採用	②中途採用
業 種 別		製 造 業	113	50.4	91.2
		卸 売 業	21	71.4	100.0
		小 売 業	15	86.7	93.3
		建 設 業	45	55.5	97.7
		運 輸 業	35	28.6	100.0
		サービス業	41	60.9	97.5
規 模 別		5人未満	27	29.6	96.3
		5~19人	128	50.8	95.3
		20~49人	73	58.9	94.5
		50人以上	42	69.1	95.3
全 体			270	53.7 (62.8)	95.2 (93.0)
全企業に占める割合			1,072	13.5	24.0

(注) () 内は2021年調査結果

4. 中途採用する理由

前項3で、「中途採用する」と答えた企業（全企業の24.0%、257社）に対し、その理由を複数回答で聞いた結果が第4表である。

全体で見ると、「①新卒者の成長を待っている余裕がない」とする企業は56.7%で最も多く、中途採用せざるを得ない状況がうかがえる。次いで「②新卒の応募者が集まらない」が47.6%と多い。募集をかけても新卒者が集まらず、新卒採用だけでは希望人数を補充しきれないものとみられる。以下、「③新卒者は定着率が低い」が24.2%、「④新卒者を育成する体制を敷けない」が15.9%となった。「⑤コロナの影響で新卒の採用活動ができなかった」はわずか2.0%である。

業種別で見ると、「①新卒者の成長を待っている余裕がない」とする企業割合は、サービス業（71.8%）や運輸業（65.7%）でとくに高い。

第4表 中途採用する理由

（複数回答、%）

項目		①新卒者の成長を待てない	②新卒者が集まらない	③新卒者は定着率が低い	④新卒者の育成体制を敷けない	⑤コロナで新卒採用ができず
区分						
業種別	製造業	53.0	53.0	24.0	19.0	3.0
	卸売業	55.0	65.0	20.0	15.0	0
	小売業	50.0	50.0	28.6	0	7.1
	建設業	47.7	47.7	29.5	13.6	2.3
	運輸業	65.7	34.3	22.9	17.1	0
	サービス業	71.8	35.9	20.5	15.4	0
規模別	5人未満	58.3	54.2	25.0	20.8	0
	5～19人	58.3	45.0	21.7	16.7	2.5
	20～49人	58.0	52.2	29.0	13.0	1.4
	50人以上	48.7	43.6	23.1	15.4	2.6
全体		56.7	47.6	24.2	15.9	2.0
2021年4月調査		64.2	39.8	22.6	14.2	5.8

5. 昨年の採用実績

すべての企業に対し、昨年の正社員の採用実績について聞いた結果が第5表である。

全体でみると、「①採用した」と答えた企業は34.4%であった。一方、「②採用しなかった」とする企業は65.6%で、このうち「a.当初は計画があったものの、採用しなかった」とする企業が9.9%と1割程度みられた。

なお、「a.当初は計画があったものの、採用しなかった」と答えた企業（106社）に対し、その理由を複数回答で聞いたところ、「(ア)希望する人材がいなかった」（55.8%）が最も多く、次いで「(イ)応募者が集まらなかった」（20.2%）が続いている。

企業からは「賃金交渉が厳しくなっている」（製造業）や「求める人材が同業他社と競合するため厳しい」（運輸業）などといった声が聞かれた。

第5表 昨年の採用実績

(%)

区分		項目			計
		①採用した	②採用しなかった	a.計画あったが、採用しなかった	
業 種 別	製 造 業	36.2	63.8	(9.7)	100.0
	卸 売 業	24.4	75.6	(8.1)	100.0
	小 売 業	32.0	68.0	(9.3)	100.0
	建 設 業	28.0	72.0	(11.5)	100.0
	運 輸 業	44.9	55.1	(14.6)	100.0
	サービス業	40.0	60.0	(7.8)	100.0
規 模 別	5人未満	15.2	84.8	(7.4)	100.0
	5～19人	32.5	67.5	(11.5)	100.0
	20～49人	58.1	41.9	(10.6)	100.0
	50人以上	72.8	27.2	(4.5)	100.0
全 体		34.4	65.6	(9.9)	100.0

「a.計画はあったが、採用しなかった」とする理由（複数回答）

- (ア) 希望する人材がいなかった 55.8%
- (イ) 応募者が集まらなかった 20.2%
- (ウ) 景気の先行きが不透明 18.3%
- (エ) 人手が適正ないし過剰になってきた 10.6%
- (オ) 人件費の増加が重荷 10.6%

6. 採用の難易度

ここ1年程度を振り返り、自社や同業者などが必要な人材を確保する場合の難易度に変化があったかどうか、すべての企業に聞いた結果が第6表である。

全体で見ると、「①非常に難しくなった」(9.7%)と「②やや難しくなった」(33.8%)を合計した「難しくなった(①+②)」とする企業は43.5%となり、昨年調査(31.8%)と比べ11.7ポイント増加した。これに対し、「③とくに変わらない」は55.1%(昨年比9.2ポイント減)、「④容易になった」はわずか1.4%(同2.5ポイント減)である。このところ有効求人倍率は低い水準にあるものの、中小企業において必要な人材の確保は依然として難しく、採用環境は厳しさを増しているようだ。

業種別で見ると、「難しくなった(①+②)」とする企業割合は、運輸業が59.6%で最も高くなっている。

第6表 採用の難易度

項目		①非常に 難しく なった	②やや 難しく なった	③とくに 変わら ない	④容易に なった	計	(%)
区分							難しくなった ①+②
業 種 別	製 造 業	11.2	35.4	52.2	1.2	100.0	46.6 (28.6)
	卸 売 業	10.6	24.4	63.4	1.6	100.0	35.0 (29.8)
	小 売 業	6.2	30.9	57.7	5.2	100.0	37.1 (41.5)
	建 設 業	11.5	33.5	53.9	1.1	100.0	45.0 (32.5)
	運 輸 業	9.0	50.6	40.4	0	100.0	59.6 (34.7)
	サービ ス業	6.1	30.0	63.3	0.6	100.0	36.1 (31.1)
規 模 別	5人未 満	10.0	21.4	66.4	2.2	100.0	31.4 (28.2)
	5~19 人	10.6	37.7	50.7	1.0	100.0	48.3 (33.2)
	20~49 人	6.9	40.6	51.9	0.6	100.0	47.5 (32.9)
	50人 以上	7.6	33.3	56.1	3.0	100.0	40.9 (34.2)
全 体		9.7	33.8	55.1	1.4	100.0	43.5
2021年4月調査		5.7	26.1	64.3	3.9	100.0	31.8
2020年2月調査		16.3	39.7	43.4	0.6	100.0	56.0
2019年2月調査		19.7	36.5	43.0	0.8	100.0	56.2

(注) () 内は2021年調査結果

7. 非対面による採用活動

最後に、新型コロナウイルス感染防止策として、採用に関してオンライン説明会やWEB面接などを行う企業がみられるが、このような非対面による採用活動について、すべての企業に聞いた結果が第7表である。

全体で見ると、非対面による採用を「①実施している」企業は17.4%に過ぎず、「②実施していない」企業は82.6%にのぼる。「①実施している」企業の内訳は、「(ア) コロナ沈静後も続ける」が7.8%で、「(イ) コロナ沈静後は対面に戻す」が9.6%である。

また、「②実施していない」企業の内訳は、ノウハウがない、環境が未整備など「(ウ) 行いたいができない」とする企業が24.6%であるのに対し、必要性を感じない、直接面談して決めたいなど「(エ) 今後も行わない」とする企業が58.0%と過半を占めた。

業種別で見ると、「①実施」企業割合は、サービス業(21.7%)で2割程度と比較的高くなっている。

第7表 非対面による採用活動 (％)

項目 区分		①実施	(ア)コロナ沈静後も続ける		②未実施	(ウ)行いたいができない		計 ①+②
			(イ)コロナ沈静後は対面に戻す	(エ)今後も行わない				
業種別	製造業	19.4	9.2	10.2	80.6	22.9	57.7	100.0
	卸売業	16.2	8.9	7.3	83.8	22.8	61.0	100.0
	小売業	13.4	6.2	7.2	86.6	25.8	60.8	100.0
	建設業	14.8	4.9	9.9	85.2	25.3	59.9	100.0
	運輸業	11.3	3.4	7.9	88.7	27.0	61.7	100.0
	サービス業	21.7	10.0	11.7	78.3	27.2	51.1	100.0
規模別	5人未満	14.4	3.7	10.7	85.6	21.8	63.8	100.0
	5～19人	14.1	6.3	7.8	85.9	25.2	60.7	100.0
	20～49人	24.4	11.9	12.5	75.6	28.8	46.8	100.0
	50人以上	42.4	28.8	13.6	57.6	21.2	36.4	100.0
全体		17.4	7.8	9.6	82.6	24.6	58.0	100.0

以上